

水利組織の財政改善の取り組み

水利組織にとって、灌漑の水管理や施設管理は重要な活動ですが、特にポンプに依存する地区では、施設の補修費用に加え、ポンプを稼働するための電気代も工面する必要があり、十分な予算が必要とされます。

一方、そのための財源は、組合員農家からの水利費で賄われています。しかし、農家個々の経済的な問題や、水利組織に対する不信感などにより、水利費の徴収は容易なことではありません。

今号では、当プロジェクトの対象地区における水利費徴収や電気代の支払い状況、そしてどのように改善の取り組みがされているかについて報告します。



老朽化したポンプ
ポンプは灌漑施設のライフライン

1) 水利費の徴収状況(2018/19 乾季) ~2019.8.1 現在のデータ~

(単位:キープ、100,000 キープ=約 1,220 円)

対象地区	ヘクタールあたりの水利費	徴収すべき水利費合計	徴収状況	
			徴収済み	徴収率
トンハン地区	730,000	308,910,000	265,702,000	86%
ソムサード地区	853,000	163,001,995	124,500,000	76%
ポントン・ドンニエン地区	617,554	41,000,000	27,000,000	66%
ゲンコックヌア地区	760,929	31,959,018	31,959,018	100%
パノムサイ地区	619,189	54,924,259	41,779,716	76%
ノンブアルアン地区	320,000	18,843,000	13,701,000	73%
セーサラロン地区	* 67,000	31,317,500	31,115,500	99%

* セーサラロン地区は、上流のダムからポンプを使わずに引水するため電気代がかからず、水利費は安価。

徴収率は DAFO 職員の支援により昨年と比べ改善している。100%徴収を達成した地区もある。

2) ポンプ電気代の支払い状況(2018/19 乾季分)

対象地区	電気代(kip)	支払い状況
トンハン地区	111,069,225	約半額支払済 (58,000,000 kip)
ソムサード地区	66,884,452	100% 支払済
ポントン・ドンニエン地区	14,500,000	100% 支払済
ゲンコックヌア地区	15,159,120	100% 支払済
パノムサイ地区	31,983,368	100% 支払済
ノンブアルアン地区	7,066,000	100% 支払済
セーサラロン地区	なし	なし

なぜトンハンは半額しか払っていないの？

<水利組織役員の回答>

電気代を支払うためには各農家から水利費を徴収するのですが、それには大変な労力を要します。

一方、電力会社職員も、電気代を払ってもらうために、水利費の徴収に協力してくれています。電気代を一度に払うのではなく、ある程度の水利費が徴収できたら電気代を払うようにしているのです。

3) 各地区の取り組みの事例

関係者全員の努力の結果、各地区の財務状況は改善しています。しかし一方では、過去の負債（電気代の未払い）が残っているという実情もあります。この問題を解消するために、いくつかの地区で取り組んでいる内容や状況について、以下に紹介します。

事例 1 チャンポン郡 ゲンコックヌア地区水利組合

同組合では、2018年から2019年の水利費を組合員から100%徴収し、これをポンプの電気代支払いに回しています。しかし、過去の電気代の未払いは解消されておらず、少しずつでも未払いを解消しようと努力を続けています。例えば今年の乾季作の場合、徴収した水利費の残金をやりくりして捻出した40万キープを未払い分に充当しています。



トンハン地区で經理のノウハウを学ぶゲンコックヌア地区役員たち

事例 2 ソンナブリ郡 ノンブアルアン地区水利組合

同組合では各組合員の未払い金とどれだけあるかが把握されています。そのため、組合員農家の各家庭の電気代に未払い金を上乗せして請求書を発行し、これを徴収することで、過去の負債の返済に充てようと検討中。現在、電力会社、村長、郡知事らとともに協議がされています。



電力会社との連携について村長を交えて協議

事例 3 サイブリ郡 トンハン地区水利組合

灌漑面積を拡大し水利費の増収を図るため、日本の「草の根無償」※の支援を受けた幹線水路2,000mの整備が着工中です。

一方、かつてJICAの「南部メコン川沿岸地域参加型灌漑農業振興計画プロジェクト」(通称PIAD、2010年から5年間の協力)により整備された水路と、今回新たに整備される水路との間には156mの土水路があります。現在、同組合では、PIADで学んだ建設技術を活かしながら、自主施行でこの区間の整備を行っており、間もなく完成する予定です。



自力で水路を整備中

※外務省「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

郡職員からひと言：「草の根無償」による水路整備

最初はこの事業の申請方法すら分からず、ただ気が重かったのですが、日本人専門家の力添えで、申請までの段取りや申請に必要な情報の内容、水路拡充によってどれだけの住民が裨益を受けるかを検討する必要性など、色々学ぶことができました。

そして今、事業の承認が得られたことで、トンハン地区の人々の力になれたのではと感じています。地区の組合員メンバー達も、事業を受け入れるために自分たちがすべき役割を懸命に果たそうとしているのが良く分かり、それを見るのが嬉しいです。



サイブリ郡
農林事務所員
ウエッサダーさん

<次回(9月下旬頃)予告： ミャンマー、フィリピンにおけるスタディーツアー>

8月中旬から下旬にかけて、地方行政分野を中心としたスタディーツアーのため、プロジェクト関係者数名がミャンマーとフィリピンを訪れる予定です。次号は、この結果について報告します。